

第1章 基本的な考え方

1 県政の基本目標	すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現
2 プランの性格等	<p>長期構想と行動計画という2つの性格を併せ持つもの</p> <p>長期構想 現在生まれた世代が20代を迎える2040年代半ばを展望した目指すべき岡山の将来像を描く</p> <p>行動計画 長期構想の実現に向けて重点的に取り組む戦略や施策を盛り込んだ計画</p> <p>【重点戦略】 I 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現 II 夢を育む教育県岡山の推進 III 地域を支える産業の振興 IV 安心して豊かさが実感できる地域の創造</p> <p>【計画期間】 令和7(2025)年度から令和10(2028)年度までの4年間</p>
3 第4次プラン推進の基本姿勢	県民ニーズ等の的確な把握や行政のDXなどを進め、さまざまな主体の参画、市町村等との連携・協働を基調に、時代の要請に応える県政運営を行う

1

第2章 長期構想(岡山の将来像)

1 2040年代半ばを見据えた潮流と課題

さらなる人口減少社会・超高齢社会の到来	<ul style="list-style-type: none"> ・2040年代半ばの本県の推計人口は158万人 ・2040年代半ばの高齢化率は36.9% など
激甚化・頻発化する自然災害	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30(2018)年7月豪雨災害の教訓 ・自助・共助・公助による災害対応 など
感染症のリスクと社会経済活動の両立	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の教訓 ・次なる新興感染症への備え など
デジタル技術の進展と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・AIやデジタル技術を活用した公共サービスの維持・強化 ・デジタル人材の育成 など
カーボンニュートラルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の気候変動の影響 ・2050年温室効果ガス排出ゼロに向けた取組 など
グローバル化のさらなる進展	<ul style="list-style-type: none"> ・ひと・ものの流動性の高まり ・地球規模の課題解決への積極的な取組 など

2 岡山の個性と優位性

本県のさらなる発展を図るため、岡山の個性やこれまで築き上げてきた優位性(拠点性、気候、自然環境、地震、教育環境、産業集積、観光資源、農林水産物、医療環境、福祉、文化・スポーツ)について整理する

2

3 2040年代半ばの目指すべき岡山の姿

本県の人口ビジョン※を見据えながら、概ね20年後の2040年代半ばの目指すべき岡山の将来像を示す

※目指すべき将来の方向を達成することにより、人口の減少幅が緩やかになり、2100年には100万人程度確保される

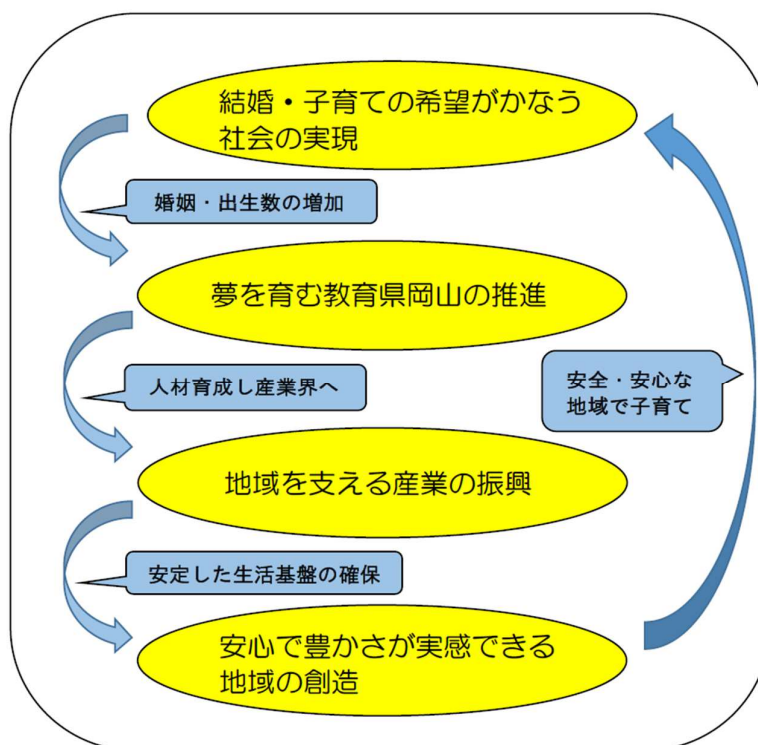
結婚・子育ての希望がかなう社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が結婚や子育てを前向きに捉え、それぞれの希望をかなえている ・地域ぐるみの子育て支援環境が整備され、社会全体で子育てを応援する気運が醸成されている など
夢を育む教育県岡山の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもたちが安心して学ぶことができる環境が整備されている ・将来の夢や目標を持ちながら、自立的に生きる能力を身に付けている など
地域を支える産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や企業とのオープンイノベーションを通じて、グローバル競争で優位に立つ技術力・生産性を誇っている ・多様な観光資源を活用し、地域経済の成長を支えている など
安心して豊かさが実感できる地域の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い医療サービスを受けることができる ・高齢化が進む地域において、地域内外の多様な主体が、地域社会の担い手として活躍している など

4 地域別構想

県南都市部では、人口減少が進む地域が見られるようになり、今後さらなる加速化が予測され、中山間地域では、農山村の諸機能の弱体化や地域コミュニティの衰退などさまざまな課題がある中、「生き生き岡山」の実現に向けて、総合的な行政の推進に努めている備前・備中・美作の各地域が、地域住民や基礎自治体である市町村と密接な連携の下、地域ごとに地域の将来の姿を描くとともに、その実現に向けた政策展開の方向性を示す

3

【4つの重点戦略の視点】



4

第3章 行動計画

【行動計画の構成】

※重点施策は、「生き活き指標」により達成度を示すことができる施策

重点戦略	戦略プログラム	生き活き指標	重点施策	推進施策
I 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現	① 出会い・結婚応援プログラム	2	2	2
	② 妊娠・出産・子育て支援プログラム	4	4	2
	③ 子育てと仕事の両立支援プログラム	3	4	3
II 夢を育む教育県岡山の推進	① 学ぶ力育成プログラム	6	5	2
	② 徳育・体育推進プログラム	4	4	2
	③ 多様な教育ニーズ支援プログラム	5	4	2
	④ グローバル人材育成プログラム	2	2	2
III 地域を支える産業の振興	① 企業誘致・投資促進プログラム	6	6	1
	② 企業の「稼ぐ力」強化プログラム	6	5	2
	③ 観光振興プログラム	7	5	3
	④ 儲かる農林水産業加速化プログラム	4	5	6
	⑤ 働く人応援プログラム	6	6	1
IV 安心して豊かさが実感できる地域の創造	① 保健医療充実プログラム	7	4	2
	② 福祉サービス推進プログラム	3	3	5
	③ 子ども・若者支援プログラム	2	2	4
	④ 防災対策強化プログラム	7	4	5
	⑤ 暮らしの安全推進プログラム	3	3	5
	⑥ 持続可能な中山間地域等形成プログラム	7	7	2
	⑦ 快適な環境保全プログラム	5	5	5
	⑧ 脱炭素化推進プログラム	2	2	4
	⑨ 生きがい・元気づくり支援プログラム	4	3	6
	⑩ 情報発信力強化プログラム	4	4	2

合計

4
重点戦略

22
プログラム

99
生き活き指標

157
施策

89重点施策
68推進施策

【各重点戦略】

重点戦略	戦略プログラム
I 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現 【新】	① 出会い・結婚応援プログラム ② 妊娠・出産・子育て支援プログラム ③ 子育てと仕事の両立支援プログラム
II 夢を育む教育県岡山の推進	① 学ぶ力育成プログラム ② 徳育・体育推進プログラム ③ 多様な教育ニーズ支援プログラム ④ グローバル人材育成プログラム
III 地域を支える産業の振興	① 企業誘致・投資促進プログラム ② 企業の「稼ぐ力」強化プログラム ③ 観光振興プログラム ④ 儲かる農林水産業加速化プログラム ⑤ 働く人応援プログラム
IV 安心して豊かさが実感できる地域の創造	① 保健医療充実プログラム ② 福祉サービス推進プログラム ③ 子ども・若者支援プログラム ④ 防災対策強化プログラム ⑤ 暮らしの安全推進プログラム ⑥ 持続可能な中山間地域等形成プログラム ⑦ 快適な環境保全プログラム ⑧ 脱炭素化推進プログラム ⑨ 生きがい・元気づくり支援プログラム ⑩ 情報発信力強化プログラム

1 出会い・結婚応援プログラム		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
未婚者が結婚の希望や意向を持っているものの、結婚できそうにない理由として、「結婚したいと思う相手と出会いそうにない」ことや、仕事等との両立についての不安も挙げられていることなどから、希望や理想の実現に向けた出会い・結婚支援を重点的に進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 婚姻率(人口1千人に対する婚姻件数の割合)【新】 3.7 → 3.9 ○ おかやま出会い・結婚サポートセンターが関わった成婚数 521組 → 1,000組 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会全体で出会い・結婚を応援する気運の醸成 ■ 結婚の希望をかなえる環境の整備

2 妊娠・出産・子育て支援プログラム		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
希望する子ども数と実際に持っていると思う子ども数に差が生じていることや、核家族化の進行等による「孤立した育児」も課題とされていることなどから、妊娠・出産や子育てへの不安感、孤立感の解消につなげ、誰もが安心して子育てできる環境づくりに取り組む必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合計特殊出生率 1.32 → 1.37 ○ 出生数【新】 11,575人 → 12,238人 ○ 妊娠・出産について満足している母親の割合 86.7% → 90.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育てにやさしい社会づくり ■ 地域ぐるみの子育て支援 ■ 切れ目のない母子保健等の強化

7

3 子育てと仕事の両立支援プログラム		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
企業として子育て支援に取り組むべきと考えているものの、実際には規模や業種によって取組に濃淡があることから、経営者の意識向上等により子育てと両立できる働きやすい職場環境づくりを推進する必要がある。また、保育士不足が厳しさを増していることから、保育人材の確保に向けた取組を進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ おかやま子育て応援宣言企業「アドバンス企業」認定数 151社 → 440社 ○ 14日以上の子育て休業取得率【新】 39.2% → 50.4% ○ 保育士・保育所支援センターが関わった保育所等への就職者数 436人 → 820人 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業等による子育て支援の取組の促進 ■ 男性の子育て休業取得促進に向けた環境の整備 ■ 男女がともに協力して子育てをする意識の醸成 ■ 保育人材の確保・定着と職場環境の改善

8

【各重点戦略】

重点戦略	戦略プログラム
I 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現	① 出会い・結婚応援プログラム ② 妊娠・出産・子育て支援プログラム ③ 子育てと仕事の両立支援プログラム
II 夢を育む教育県岡山の推進	① 学ぶ力育成プログラム ② 徳育・体育推進プログラム ③ 多様な教育ニーズ支援プログラム【新】 ④ グローバル人材育成プログラム
III 地域を支える産業の振興	① 企業誘致・投資促進プログラム ② 企業の「稼ぐ力」強化プログラム ③ 観光振興プログラム ④ 儲かる農林水産業加速化プログラム ⑤ 働く人応援プログラム
IV 安心して豊かさが実感できる地域の創造	① 保健医療充実プログラム ② 福祉サービス推進プログラム ③ 子ども・若者支援プログラム ④ 防災対策強化プログラム ⑤ 暮らしの安全推進プログラム ⑥ 持続可能な中山間地域等形成プログラム ⑦ 快適な環境保全プログラム ⑧ 脱炭素化推進プログラム ⑨ 生きがい・元気づくり支援プログラム ⑩ 情報発信力強化プログラム

9

1 学ぶ力育成プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
子どもたちが主体的に学び、社会課題の解決につながる新たな価値や行動を生み出すことができるよう、夢や目標の実現に向けて、子どもたちに学ぶ意義を実感させるとともに、学ぶ意欲を高め、自己実現を図るために必要となる学ぶ力を確実に育成する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合 小学校6年生 60.4% → 70.0%等 ○ 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差 小学校6年生 ▲1ポイント → +1ポイント等 ○ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合【新】 小学校6年生 80.8% → 84.0%等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教師の授業力の向上 ■ PBL(課題解決型学習)の推進【新】 ■ キャリア教育の推進 ■ 子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり ■ 情報活用能力の育成
2 徳育・体育推進プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
子どもたちが、将来、多様な他者と協働しながら、社会の一員として活躍できるよう、さまざまな活動を通じて、自他の生命の尊重、他者への思いやり、主体的に社会の形成に参画する態度や生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質・能力を育成し、若年期から精神面、身体面の充実を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人が困っているときは、進んで助けている」と回答した児童生徒の割合 小学校6年生 45.6% → 49.0%等 ○ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童生徒の割合【新】 小学校6年生 84.1% → 86.0%等 ○ 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合 (男子)小学校5年生 72.1% → 74.0% (女子)小学校5年生 53.5% → 56.0%等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道徳教育の推進 ■ より良い社会づくりに参画する人材の育成 ■ 子どもたちの体力の向上

10

3 多様な教育ニーズ支援プログラム【新】

課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
児童生徒数の減少が進む中、すべての子どもたちにとって、学校が安全・安心な場所であるとともに、誰一人取り残されない学びを実現できるよう、教育関係者の連携の下、学校における指導の改善・充実や学校外での学びの場づくりを推進する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合【新】 小学校6年生 85.6% → 87.0%等 ○ 小・中・高等学校における児童生徒1千人当たりの新規不登校児童生徒数の全国平均との比較値(全国平均を100とした場合の本県の比較値)【新】 87.6 → 85.0 ○ 小・中・高等学校における不登校児童生徒のうち学校内外の機関等で相談・指導等を受けた児童生徒の割合【新】 78.1% → 80.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 魅力ある学校づくりの推進 ■ 「チーム学校」による不登校等の早期支援 ■ 不登校児童生徒等の学びの場の確保【新】

4 グローバル人材育成プログラム

課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
グローバル化が進展する中、豊かな語学力・コミュニケーション能力や、異文化を理解する精神等を有するとともに、膨大な情報から、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値や行動を生み出すことのできる人材を育成する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内大学等及び高校からの海外留学者数 大学等 856人/年 → 1,420人/年 高校 437人/年 → 750人/年 ○ 全国規模の理数・情報・政策提案等のコンテストへの県立高校生の参加者数 806人/年 → 950人/年 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際的に活躍できる人材の育成 ■ 探究・STEAM教育の推進

11

【各重点戦略】

重点戦略	戦略プログラム
I 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ① 出会い・結婚応援プログラム ② 妊娠・出産・子育て支援プログラム ③ 子育てと仕事の両立支援プログラム
II 夢を育む教育県岡山の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 学ぶ力育成プログラム ② 徳育・体育推進プログラム ③ 多様な教育ニーズ支援プログラム ④ グローバル人材育成プログラム
III 地域を支える産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ① 企業誘致・投資促進プログラム ② 企業の「稼ぐ力」強化プログラム ③ 観光振興プログラム ④ 儲かる農林水産業加速化プログラム ⑤ 働く人応援プログラム
IV 安心して豊かさが実感できる地域の創造	<ul style="list-style-type: none"> ① 保健医療充実プログラム ② 福祉サービス推進プログラム ③ 子ども・若者支援プログラム ④ 防災対策強化プログラム ⑤ 暮らしの安全推進プログラム ⑥ 持続可能な中山間地域等形成プログラム ⑦ 快適な環境保全プログラム ⑧ 脱炭素化推進プログラム ⑨ 生きがい・元気づくり支援プログラム ⑩ 情報発信力強化プログラム

12

1 企業誘致・投資促進プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
企業の主要拠点の国内回帰や競争力強化に向けた投資が進む中、企業の地方移転や支店等の新規開設等、企業ニーズに合った産業用地の確保や、既立地企業における新技術等の開発、脱炭素化、生産性の向上に向けた取組を進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規立地企業等の投資額 1,185億円/年 → 3,000億円(4年間累計) ○ 水島工業地帯における新規立地企業等の投資額【新】 533億円/年 → 1,500億円(4年間累計) ○ 主要渋滞箇所における対策実施箇所数【新】 24箇所 → 34箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 戦略的誘致施策の推進 ■ 県内への国内拠点設置の促進 ■ 水島コンビナートの国際競争力強化 ■ 交通基盤整備

2 企業の「稼ぐ力」強化プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
県内企業の99.8%を占める中小企業・小規模事業者には、生産性の向上やデジタル化、市場の変化に応じた販路開拓、グリーン成長に向けた技術革新などへの対応や、廃業等により企業や優れた技術が失われないよう、第三者承継を含め円滑な事業承継に取り組む必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 従業員1人当たり売上高(生産性向上指標) 25,179千円/年 → 27,700千円/年 ○ 企業と大学との共同研究センターにおける産学連携等に向けたマッチング支援件数 58件/年 → 280件(4年間累計) ○ 県等の創業資金を活用した事業者数【新】 477者/年 → 2,000者(4年間累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業の持続的な成長・発展支援 ■ 時代の変化に対応するイノベーションの推進 ■ 地域に活力をもたらす新ビジネスの創出支援

13

3 観光振興プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
持続可能な観光地づくりに向け、データに基づくマーケティングや付加価値の高いコンテンツ・サービスの提供を推進し、観光客の満足度と観光産業の収益力の向上の両立に取り組む必要がある。また、インバウンドの地方部への誘客拡大に向けた取組の強化が求められている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光消費額 2,209億円/年 → 2,225億円/年 ○ 観光入込客数 1,566万人/年 → 1,759万人/年 ○ 訪日外国人旅行消費額【新】 142億円/年 → 180億円/年 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 滞在型観光の推進 ■ 多様な主体と連携した魅力発信 ■ 国・地域の特性を踏まえたインバウンド戦略の展開

4 儲かる農林水産業加速化プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
本県の有する優れた人材や高い技術力、恵まれた自然環境などの優位性を最大限生かしながら、生産性の向上や国内外での販路拡大、経営感覚に優れた担い手の育成等を通じて所得増大を図り、農林水産業を将来にわたり成長し続ける、魅力ある産業とする必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農林水産業産出額 1,674億円/年 → 1,700億円/年 ○ 県産果物の首都圏及び関西圏販売金額、輸出金額【新】 首都圏及び関西圏販売金額 59億円/年 → 64億円/年 輸出金額 11.8億円/年 → 13.8億円/年 ○ 認定農業者の法人数【新】 463法人 → 513法人 	<ul style="list-style-type: none"> ■ マーケティングの強化とブランディングの推進 ■ 海外でのブランド確立による輸出拡大 ■ 次代を担う力強い担い手の確保・育成 ■ 生産性の高い農業の推進

14

5 働く人応援プログラム		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
<p>本県の経済を維持・発展させていくためには、企業が求める人材の還流と定着を進めるとともに、性別や年齢などにかかわらず誰もが能力を十分に発揮できる多様で柔軟な働き方や、企業等のそれぞれの状況に応じた働きやすい職場づくりの取組を支援していく必要がある。</p>	<p>○ 県内大学新卒者の県内就職率 42.9% → 46.6%</p> <p>○ 勤務間インターバル制度に取り組んでいる事業所の割合【新】 30.2% → 35.0%</p> <p>○ 70歳以上まで働ける企業割合【新】 45.3% → 55.0%</p>	<p>■ 若者の県内定着を進める就職支援</p> <p>■ 県内企業の発展を担う人材の還流・定着の支援</p> <p>■ 意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進</p> <p>■ 高齢者の就業支援</p>

【各重点戦略】

重点戦略	戦略プログラム
I 結婚・子育ての希望がかなう社会の実現	① 出会い・結婚応援プログラム ② 妊娠・出産・子育て支援プログラム ③ 子育てと仕事の両立支援プログラム
II 夢を育む教育県岡山の推進	① 学ぶ力育成プログラム ② 徳育・体育推進プログラム ③ 多様な教育ニーズ支援プログラム ④ グローバル人材育成プログラム
III 地域を支える産業の振興	① 企業誘致・投資促進プログラム ② 企業の「稼ぐ力」強化プログラム ③ 観光振興プログラム ④ 儲かる農林水産業加速化プログラム ⑤ 働く人応援プログラム
IV 安心して豊かさが実感できる地域の創造	① 保健医療充実プログラム ② 福祉サービス推進プログラム ③ 子ども・若者支援プログラム【新】 ④ 防災対策強化プログラム ⑤ 暮らしの安全推進プログラム ⑥ 持続可能な中山間地域等形成プログラム ⑦ 快適な環境保全プログラム ⑧ 脱炭素化推進プログラム【新】 ⑨ 生きがい・元気づくり支援プログラム ⑩ 情報発信力強化プログラム

1 保健医療充実プログラム		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
高齢化が進む中、すべての県民が、それぞれの地域で、質の高い医療・介護サービスを必要に応じて受けることができる体制を確保していくため、医療人材の確保・育成、医療ニーズの変化等に対応した医療提供体制の改革などを進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内の医師不足地域の医療機関に勤務する地域卒業医師数 24人 → 31人 ○ 病院(精神科病院を除く)・内科診療所のうち在宅療養支援病院・診療所の数の割合【新】 32.3% → 34.6% ○ 日常生活動作が自立している期間の平均(健康寿命)【新】 男性 80.19歳 → 80.44歳 女性 84.53歳 → 84.59歳 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域医療を支える医療従事者の育成・確保 ■ 人口減少・高齢化に対応した医療提供体制の整備 ■ 心と体の健康づくりの推進

2 福祉サービス推進プログラム		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
高齢、障害、生活困窮、女性・子どもを取り巻く環境の変化など、一人ひとりの抱える課題やニーズが多様化、複雑化、複合化する中、包括的な相談支援の窓口整備や支援体制の充実・強化、人材確保など、それぞれの課題に対応したきめ細かな取組を一層進める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防のための通いの場への参加率 6.4% → 8.0% ○ 「おかやま☆フクシ・カイゴ職場すまいる宣言」登録数 523事業所 → 866事業所 ○ 障害福祉サービス利用者の一般就労への移行者数 415人/年 → 1,825人(4年間累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括ケアシステムの深化・推進 ■ 福祉・介護の人材確保とサービスの質の向上 ■ 障害のある人の自立と社会参加の促進

17

3 子ども・若者支援プログラム【新】		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
子ども・若者を取り巻く社会情勢が変化し、地域とのつながりが希薄になる中、貧困や虐待、いじめ、ヤングケアラーなど、困難な状況にある子ども・若者やその家族が孤立することなく、必要な支援を受けられるよう、相談支援体制の充実・強化等に取り組む必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ こども家庭センターの設置市町村数【新】 — → 22市町村 ○ 中途退学者等への自立支援を通じた進路決定者数【新】 302人 → 550人 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもと家族を見守り支える地域づくり ■ 困難な状況にある子ども・若者への支援

4 防災対策強化プログラム		
課題等	主な生き生き指標	主な重点施策
南海トラフ地震等の大規模地震や、激甚化・頻発化する風水害などに備え、県土の強靱化を進めるとともに、県民の防災意識をさらに高め、地域防災力の充実強化を図る必要がある。また、発災後には、多様な主体と連携しながら、早期の復旧・復興を図る必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハザードマップの確認を行っている県民の割合 40.6% → 55.0% ○ 自主防災組織率 87.8% → 93.0% ○ 河道内整備の実施延長 94km → 200km 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自らの命は自らが守る取組の促進 ■ 互いに助け合う地域の防災力の充実強化 ■ 防災施設の整備や公共施設等の耐震化等の推進

18

5 暮らしの安全推進プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
<p>特殊詐欺の悪質・巧妙化、高齢者人口の増加、地域ぐるみの見守り活動の担い手不足など、治安を取り巻く状況が変化中、県民一人ひとりの防犯意識の向上や、サイバー事案等の新たな犯罪への対応等を通じて、治安の改善を着実に進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 刑法犯認知件数 9,230件/年 → 9,000件/年 ○ 殺人、強盗等の重要犯罪検挙率 99.1% → 100.0% ○ 人身交通事故件数 5,161件/年 → 4,500件/年 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 犯罪抑止対策の推進 ■ 捜査の高度化・科学化等の推進による犯罪の徹底検挙 ■ 交通事故防止対策の推進

6 持続可能な中山間地域等形成プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
<p>複数の集落が連携した集落機能の維持や、地域内外の多様な主体の協力の下、地域の将来像を見据えて地域住民が互いに支え合う仕組みづくりの推進や、地域づくりの担い手確保にもつながるよう県外から人を呼び込む取組を強化する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集落生活圏を維持するための小さな拠点の形成数 48箇所 → 56箇所 ○ 移住支援制度の利用件数【新】 1,873件/年 → 8,000件(4年間累計) ○ 地域のニーズに応じた交通サービスを導入した件数【新】 4件/年 → 20件(4年間累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生き活き拠点(小さな拠点)の形成促進 ■ 移住・定住の促進 ■ 地域公共交通ネットワークの活性化

19

7 快適な環境保全プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
<p>環境問題への関心が高まる中、水、大気、土壌などの環境基準の達成による安全な生活環境の確保や、海ごみ対策や3Rの推進などによる循環型社会の形成、生物多様性が確保された豊かな自然環境の保全など、あらゆる主体との連携により環境保全を進めていく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海ごみ削減キャンペーン等によるごみの回収量【新】 92t/年 → 120t/年 ○ 国際水準以上の有機農業の取組面積【新】 176ha → 250ha ○ 放置艇の隻数【新】 5,812隻 → 1,136隻 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 海ごみ対策の推進 ■ みどりの食料システム戦略の推進【新】 ■ 秩序ある水辺空間の創出【新】

8 脱炭素化推進プログラム【新】		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
<p>脱炭素社会の実現を目指す気運が高まる中、県民、事業者、行政といった各主体が、気候変動の影響に対する危機感を共有し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、それぞれの役割に応じた対策を積極的に実践し、一丸となって脱炭素につながる取組を進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となる事業所の温室効果ガス排出量【新】 3,413万t-CO₂ → 2,882万t-CO₂ ○ 電気自動車等の普及台数 11,777台 → 29,200台 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 温室効果ガスの削減に向けた取組等の推進 ■ 電気自動車等の普及拡大【新】

20

9 生きがい・元気づくり支援プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
文化やスポーツに対する関心の高まりが期待される中、市町村、関係団体、地域住民等と連携し、広く県民が、文化やスポーツに親しみ、実践することができるような環境づくりを進めることにより、地域の一体感や活力を醸成する地域づくりに取り組む必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化芸術に関わった(自ら実践・直接鑑賞した)人の割合【新】 42.4% → 45.0% ○ 県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を観戦した人の割合【新】 21.7% → 25.0% ○ 成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合 43.8% → 55.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化とスポーツの力を活用した地域の活性化 ■ 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進
10 情報発信力強化プログラム		
課題等	主な生き活き指標	主な重点施策
スマホの定着により、個人がいつでも気軽に情報発信し、日々多くの情報に接する中であっても、本県の発信する情報が埋もれることなくしっかりと受け手に届くよう、媒体、時期、ターゲット等を適切に選定し、伝え方に工夫を凝らした情報発信を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国における本県の認知度【新】 全国22位 → 全国20位 ○ 県のSNSフォロワー等の数 185千人 → 285千人 ○ 県が発信した情報について「わかりやすい」と回答した人の割合【新】 72.0% → 77.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 強みを生かしたイメージアップ戦略の推進 ■ 首都圏アンテナショップを拠点とした岡山の魅力発信 ■ SNS等による魅力発信の推進 ■ わかりやすい県政情報の発信【新】

21

【今後のスケジュール】

令和6(2024)年11月15日～12月14日	パブリック・コメントの実施
令和7(2025)年1月	パブリック・コメント結果及び修正案の公表
2月	議案提出
3月	策定

22